

学校内組織を活かした 軽度発達障害教育への実証的研究

(課題番号：16530636)

平成 16 年度～ 18 年度 科学研究費補助金
(基盤研究 (C) (2)) 研究成果報告書

平成 19 年 3 月

研究代表者 廣瀬由美子

独立行政法人 国立特殊教育総合研究所

ま え が き

平成15年3月にまとめられた「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」では、通常の学級に在籍するLD等の発達障害のある児童生徒も対象にした、従来の特殊教育の理念を大きく転換する特別支援教育の在り方が述べられている。そして、それを受けた中央教育審議会初等中等教育分科会内には特別支援教育特別委員会が設置され、①盲・聾・養護学校の制度の見直し、②小・中学校における制度的な見直し、③教員免許制度の見直しなど主に3点の柱で審議がなされ、平成17年12月には「特別支援教育を推進するための制度の在り方について（答申）」がまとめられた。そのうち、②点目の小・中学校における制度的見直しにおいては、LD等の児童生徒に対して適切な対応を行うために、特殊学級や通級による指導の在り方が検討されている。

また、この間に、障害者基本法の一部を改正する法律（平成16年6月4日施行）によって、14条の3においては、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒の交流及び共同学習を積極的に推進するために、両者の相互理解に関する促進についても明記された。さらに、平成17年4月1日から施行された「発達障害者支援法」においても、教育現場における適切な教育的支援や支援体制の整備等が求められている。

このように、LD等の発達障害を含めた特別な教育的ニーズのある児童生徒の適切な指導や支援を実施するために、平成19年度までに全ての小中学校において支援体制（校内委員会）が構築され、特別支援教育コーディネーターが指名され、コーディネーターが中心となりながら特別支援教育を推進することが求められている。そのためには、一人一人の教員の意識改革と特別な教育的ニーズのある児童生徒に対しての具体的な対応方法等が必要不可欠になっている。

そこで、本報告書では、特別支援教育を推進するにあたり重要な役割を担う特殊学級担任や生徒指導主事、養護教諭等の方々を研究協力者をお願いして、それぞれの立場から学校現場や教育現場における特別支援教育に関する実践をまとめると共に、アンケート調査からは、生徒指導主事や養護教諭の実態やニーズ等についてまとめた。

平成19年3月

研究代表者 廣瀬 由美子

目 次

研究組織および研究経費

研究成果の発表

第1章 研究の概要	1
第2章 特別支援教育にかかる調査	
I 小・中学校における特別な支援が必要な児童生徒への対応に関する調査	3
II 特別支援教育に関する教師の意識調査	15
第3章 各指導領域と特別支援教育	
I 校内組織を活かした特別支援教育の実践	36
II 養護教諭からみた特別支援教育	45
III 特殊学級担任教員が中心となる校内支援体制の構築と活動	58
第4章 特別支援教育を推進するための研修	
I 特別支援教育を先進的に実践してきた学校の取組	68
II 管理職からみた特別支援教育の現状と課題	79
III 特別支援教育を推進するための養護教諭の研修	89

研 究 組 織

- 研究代表者 : 廣瀬 由美子 (独立行政法人 国立特殊教育総合研究所 総括研究員)
- 研究分担者 : 東條 吉邦 (茨城大学 教育学部 教授)
- 齊藤 宇開 (独立行政法人 国立特殊教育総合研究所 研究員)
- 研究協力者 : 井上 千津子 (千葉県千葉市立検見川小学校 養護教諭)
- 海老原 紀奈子 (茨城県取手市立取手小学校 特殊学級担当教諭)
- 大谷 尚之 (茨城県つくば市立谷田部東中学校 教頭)
- 永長 徹 (千葉県八街市立八街中央中学校 教頭)
- 平川 俊功 (埼玉県立総合教育センター深谷支所研修推進室 指導主事)
- 藤田 直子 (茨城県守谷市立松前台小学校 特殊学級担当教諭)
- 山口 孝一 (埼玉県さいたま市立植竹小学校 教諭)

研 究 経 費

平成16年度	900千円
平成17年度	900千円
平成18年度	900千円

合 計 2,700千円

研 究 成 果 の 発 表

1. 学術論文およびその他

- * 廣瀬由美子・東條吉邦・井伊智子（2005）小中学校における校内支援体制の在り方に関する一考察－「LDのモデル事業」研究指定校の実態から－. 国立特殊教育総合研究所研究紀要 32, 29-38.
- * 廣瀬由美子(2005) 校内委員会の役割と活動の評価. 教職研修9月号増刊 学校のPDCAシリーズ通常学級での特別支援教育PDCA, 140-143.
- * 廣瀬由美子(2005) 小学校における発達障害児の支援－校内委員会の活動を通して支援を考える－. 教育と医学, 55-61.
- * 廣瀬由美子(2006) 校内支援体制はなぜ必要か. 特別支援教育の校内支援体制づくり(大南英明編), 明治図書 20-24.
- * 廣瀬由美子(2006) 特別支援教育コーディネーターの養成研修. 特別支援教育の校内支援体制づくり(大南英明編), 明治図書 131-135.
- * 廣瀬由美子(2007) 通常教育をレベルアップさせる校内委員会の活動－校内研修の充実を求めて－, 特別支援教育コーディネーター研究(創刊号) (2月刊行予定)
- * 廣瀬由美子(2007) 特別支援教育は学力向上に関与しているか～生徒指導主事を対象にした調査結果の一部から～, LD&ADHD第21号(3月刊行予定)

2. 学会発表

- * 廣瀬由美子・斉藤宇開（2005）小中学校における校内支援体制の在り方に関する一考察（2）－生徒指導主事・養護教諭を対象にした調査から－. 日本LD学会第14回大会発表論文集, 426-427.